

平成25年5月29日

## 平成25年度 全国木材資源リサイクル協会連合会

### 通常総会議事録

開催日時 : 平成25年5月17日(金) 13:30~15:00  
場 所 : 文京シビックセンター26階スカイホール

総会員数 : 正会員 147社+6協会=153名、賛助会員12社  
出 席 : 正会員 49社、73名、賛助会員 8社、11名  
事務局員 4名、計88名  
委任状 : 67通

### 議事内容

司会 専務理事 弘山 知直

1 開会のことば 北日本協会副代表理事 中野 光 氏

2 理事長挨拶 鈴木 隆 理事長

大震災から2年余りが経過し、「再エネ法」に基づく固定価格買い取り制度がスタートして1年という時期を迎えたが、社会情勢が大きく変化をしていることを実感している。

この、5月30日に震災廃棄物に関する講演会があり、求めに応じて震災廃木材の取り扱い実績についての講演をすることになっているが、良かった点や反省点を、学界・業界全体がまとめて次に生かしていこうという趣旨である。連合会としても、こうした機会をいい形で今後の活動に反映して行きたいと思っている。

FITについては、各地域協会の努力で、順調に推移しているが、各地域で様々な角度で新しい展開としてとらえており、外部からも、我々連合会のメンバーの委員会等への参画について打診が寄せられている。こうした要請には積極的に参加をし、現場の声を広く反映させていきたいと考えている。

一方、認定NPO法人化への取り組みに関して、寄付金のお願いが不可欠であるほか、国への要望についても、一定の成果は見られるものの、まだまだの部分が多いと感じているので、多くの会員の方々の声を、粘り強く国へ要望して行く必要があるので、引き続きご協力をいただきたいことがたくさんあり、

変わらぬご支援、ご鞭撻をお願いしたい。

最後に、会員企業のますますの発展を祈念して、開会のあいさつとする。

司会から総会成立の報告

本日の総会の出席は49社で、欠席正会員から67通の委任状が提出されており、合わせて116社の出席を得たことになる。

これは、正会員数153社の過半数77を上回っており、総会が成立していることを報告した。

引き続き本日出席の各地域協会代表者の紹介を行った。

### 3 議長選出

本日の総会の議長について、鈴木 隆 理事長を議長とすることで了解を求めたところ、全員の拍手により承認された。

### 4 議事録署名人選出

議事録署名人の選出については、事務局一任との声があり、東海協会の石田謙治氏と、九州協会の河本一成氏を指名したところ、両氏とも了承した。

### 5 議事

議長 鈴木理事長

#### **第1号議案 平成24年度事業報告について**

弘山専務理事から資料に基づき、活動状況について報告した。

24年度は6つの事業を行ったが、イベントへの参加、国への要望等、それぞれの事業の実施状況の報告を行った。

議長が質問を求めたが特になく、拍手により了承された。

#### **第2号議案 平成24年度収支決算及び監査結果について**

資料に基づき事業会計決算報告及び事業会計財産目録について事務局から説明した。

活動計算書の経常経費合計額は6,909,502円、事業会計貸借対照表の正味財産合計額は4,315,924円であった。

引き続き矢嶋明監事及び田中一正監事から、4月19日に実施した監査結果について報告した。

議長が質問を求めたが特になく、拍手により了承された。

#### **第3号議案 平成25年事業計画(案)**

#### **第4号議案 平成25年度当初予算(案)について**

関連ある項目なので、一括して説明した。

資料に基づき平成 25 年度の事業計画、及びこれを実施するための活動予算書及びその内訳について事務局から説明した。

特に平成 25 年度には、F I T 制度の進展に併せて、「市況価格の見える化」についてさらに検討すること、品質規格を見直すこと、先進地域の視察を行うこと、を重点的な事業と位置付けることとしたこと等の説明を行った。

この事業を実施して行くための当初予算案については、活動予算書として、会費収入 4,353,000 円、寄付金 3,000,000 円を見込んでいる。

支出としては、先進地視察のための調査費、旅費交通費、業務委託費、研修費として合計 4,000,000 円を計上している。

また備品購入費としてパソコン 1 台を更新するため 200,000 円を、メールのセキュリティ対策として通信費 400,000 円を計上していることなどを説明した。

議長が質問を求めたが特になく、拍手により了承された。

#### **第 5 号議案 定款の改正について**

平成 24 年 8 月に事務所を移転したことに伴い、定款第 2 条（事務所）に記載する住所を改正することについて説明した。

議長が質問を求めたが特になく、拍手により了承された。

#### **第 6 号議案 役員の改選等について**

平成 25 年 3 月 31 日をもって現役員の任期が満了となったことから、役員の改選を提案した。

提案内容のうち、理事長の留任、新理事 2 名の就任が総会の議決事項となるが、新年度の全役員について、資料により説明した。

議長が質問を求めたが特になく、拍手により了承された。

新理事のうち、出席している(株)タケエイの徳山氏が就任あいさつを行った。

また、賛助会員として 5 月から入会した J F E エンジニアリング(株)を紹介し、あいさつを行った。

#### **第 7 号議案 調査広報推進委員会の検討結果について 弘山 委員長**

調査広報委員会の委員名簿を紹介し、検討結果について報告した。

平成 24 年度は、9 月から「木質チップ市況価格の見える化」について、ワーキンググループを構成して、集中的に協議してきたが、一定の方向性は確立したものの、最終結論を得るに至っていないことから、平成 25 年度も引き続きワーキンググループを構成し、協議に入っている。

本年 9 月をめどに一定の結論を得られるよう、集中的に作業を行う予定であることを報告した。

議長が質問を求めたが、特になく、本件は報告事項であり、特に議決は要

さないことを確認した。

これまでの議案について改めて意見を求めたが、特に発言はなく、すべての議案については、原案通り議決されたことを確認した。

## その他【報告事項】

### 1. 寄付金の募集について

会費収入のみでは、事業の実施は不可能であること、任意の寄付金を頼る以外にないことを説明し、平成 26 年度中に認定 N P O 法人の仮認定を取得することを目標にしたい。

そのための要件をクリアすることを前提に寄付金を募集することを説明した。

この目標額は 300 万円とすることを提案した。

### 2. F I T のバイオマス証明認定について

平成 24 年度は、実質的に 11 月から申請に対する審査を行い、全国で 13 社、15 事業所について認定を行った。

25 年度に入っても、申請は続々と続いており、公平性と適格性について適切にお対応できるよう、研修・説明を繰り返していきたい。

また、バイオマス発電施設新設計画の情報を、できるだけ確度の高いものでまとめていきたいので、統一的な情報提供をお願いしたい。

### 3. 「木質サミット連絡会」について

6 月 19 日に第 1 回会合を持つことの通知が来ており、理事長と専務理事が出席する予定である。

その後の情報については、おって会員あて周知したい。

### 4. 韓国木材活用協会との交流について

4 月 25 日に韓国側から訪日団が来日するとの申し出に対し、見学先の準備を行って、当日宿泊先のホテルに出迎えに出向いたが、一行は現れず、ドタキャンになった。今後の対応については、頭を冷やしてから考えたい。

### 5. 「建設リサイクル」誌の春号に掲載する F I T への取り組みについての寄稿原稿を紹介した。

以上で、その他の報告事項を終了した。

議長から、全体についての発言を求めたが、特になく、通常総会におけるすべての審議を終了した。

- 6 閉会の辞 東海協会会長 山口 昭彦 氏  
スピーディーな審議を感謝申し上げます。  
これで平成 25 年度通常総会を閉会する。

閉会 15 : 00

以上をもって全ての議案の審議は終了し、この議事録通り相違ないとして、議長及び議事録署名人において記名捺印する。

平成 25 年 5 月 29 日

議長 鈴木 隆 (印)

議事録署名人 石田 謙治 (印)

同 河本 一成 (印)

議事録作成人 弘山 知直 (印)